

国保だより

平成26年6月16日発行

平成26年第3号

保険医療助成課

☎229-3160 FAX229-5001

平成26年度国民健康保険料納入通知書の送付

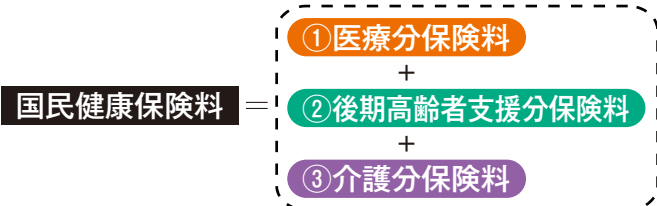
国民健康保険(以下「国保」という)の保険料納入通知書は、7月11日(金)に加入世帯の世帯主宛てに発送予定です。

保険料の納付義務者は世帯主

世帯主に国保の資格がない場合でも、その世帯の世帯員が国保に加入しているときは、当該世帯主を国保の世帯主とし、国保各種の届け出義務と国民健康保険料(以下「保険料」という)の納付義務を負い、国保の現金給付を受ける権利があります。

保険料の計算方法

年間の保険料は次のように計算します。



①医療分保険料

医療分保険料 (限度額51万円)	=	A 所得割額 料率7.1%	+	B 被保険者 均等割額 1人2万7,000円	+	C 世帯別 平等割額 1世帯2万円
---------------------	---	------------------	---	------------------------------	---	-------------------------

②後期高齢者支援分保険料

後期高齢者 支援分保険料 (限度額14万円)	=	D 所得割額 料率2.0%	+	E 被保険者 均等割額 1人7,700円	+	F 世帯別 平等割額 1世帯5,800円
------------------------------	---	------------------	---	----------------------------	---	----------------------------

③介護分保険料

介護分保険料 (限度額12万円)	=	G 所得割額 料率1.8%	+	H 被保険者 均等割額 1人8,800円	+	I 世帯別 平等割額 1世帯5,000円
---------------------	---	------------------	---	----------------------------	---	----------------------------

※介護分保険料(介護保険第2号被保険者分)は、加入世帯に40歳以上65歳未満の被保険者がいる場合にかけます。

所得割額の計算方法

所得割額 = 基準総所得金額 × 所得割料率

※基準総所得金額…所得合計額から基礎控除額33万円を差し引いた額(所得合計額が33万円以下の場合には0円)。なお、世帯の所得割額を算出する際は、加入者全員について算出し、世帯で合算。

保険料の計算例



配偶者38歳

前年中の収入は給与
収入103万円(給与所
得38万円)
基準総所得金額は
38万円-33万円=
5万円

世帯主42歳

前年中の収入は給与
収入450万円(給与所
得306万円)
基準総所得金額は
306万円-33万円=
273万円

子8歳

①医療分保険料

国保の加入者全員にかかります。

A 所得割額 (273万円+5万円)×7.1%=19万7,380円

B 被保険者均等割額 2万7,000円×3人分=8万1,000円

C 世帯別平等割額 1世帯につき2万円

A+B+C=29万8,380円

②後期高齢者支援分保険料

国保の加入者全員にかかります。

D 所得割額 (273万円+5万円)×2.0%=5万5,600円

E 被保険者均等割額 7,700円×3人分=2万3,100円

F 世帯別平等割額 1世帯につき5,800円

D+E+F=8万4,500円

③介護分保険料

40歳以上65歳未満の介護保険第2号被保険者にかかります。

G 所得割額 273万円×1.8%=4万9,140円

H 被保険者均等割額 8,800円×1人分=8,800円

I 世帯別平等割額 1世帯につき5,000円

G+H+I=6万2,940円

国民健康保険料
44万5,820円

①29万8,380円

②8万4,500円

③6万2,940円